

カナダ

CIDA (Canadian International Development Agency)

評価ユニット	Department for Evaluation and Internal Audit
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 期待の達成度 ● 付加価値の創出 ● 結果の質 ● 費用便益 <p>以上の基準の下に結果重視マネジメントを行っている。</p>
ガイドライン 参考資料	「CIDA Evaluation Guide」

ノルウェー

Norad (Norwegian Agency for Development Cooperation)

評価ユニット	Evaluation Department
評価基準	<p>基本的には DAC5 基準を参考にするが以下の基準についてさらに評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リスク ● 重要性 ● 性質 ● 費用便益
ガイドライン 参考資料	<p>「Evaluation Policy 2006–2010」</p> <p>「Evaluation Activities of the Norwegian Ministry of Foreign Affairs Annual Report 2003」</p>

スペイン 国際開発庁	
評価ユニット	Planning and Evaluation Office
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 効率性 ● 有効性 ● インパクト ● 持続可能性
ガイドライン 参考資料	「Evaluation Manual」

デンマーク 外務省	
評価ユニット	Evaluation Department
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト ● 妥当性 ● 持続可能性
ガイドライン 参考資料	「Evaluation Guideline」

オーストラリア
AusAID (Australian Agency for International Development)

評価ユニット	Office of Development Effectiveness
評価基準	<p>基本的な評価基準は以下の5つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 評価基準 ● 妥当性 ● 効率性 ● 有効性 ● インパクト ● 持続可能性 <p>加えて以下の4基準を政策基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 政策や予算の優先順位への妥当性 ● 政府の利益の全体との関係 ● プログラム間の妥当性 ● 新しい評価手法への挑戦 <p>また、2007年には新しい業績評価手法の枠組みが発表され、新しい政策基準も提示された。その基準は以下の通り。</p> <p><u>結果に関して</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 貧困削減や保健の向上などの開発目標に対してどのように業績を上げたか？ ● 開発戦略が開発目標に相応しいものであるか？ ● 開発目標に対して最も貢献した達成は何か？ ● プログラムによってもたらされた主要な結果は何か？ ● どのような評価がなされているか？ ● 国家戦略の目標を変えるべきか？ <p><u>質に関して</u></p>

	<ul style="list-style-type: none"> ● イニシアティブが実施前、実施中、実施後にどのように質を採点したか？ ● 質の向上を妨げる5つの要素の記述 <p><u>白書の実行</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● ジェンダー平等の原理を達成したか？ ● 不正撲滅へ貢献したか？ ● セクターへの資金の配分方法はどのようなものであったか？ ● 他のドナーとの共同事業や調査はどの程度行われたか？ ● 技術協力の割合はどの程度か？ ● 援助実施国のシステムをどの程度活用したか？
ガイドライン 参考資料	「Performance Assessment Framework – Core Questions on the Performance of Australian Aid Programs」

スイス SDC (Swiss Agency for Development Cooperation)	
評価ユニット	Evaluation & Controlling
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 結果と有効性へのフォーカス ● 実践と信頼性への適切さ ● 評価の目的と目標の設定
ガイドライン 参考資料	<p>「Guidelines- Evaluation and Controlling」</p> <p>「Switzerland's Approach to Evaluation and Controlling」</p>

<p style="text-align: center;">ベルギー</p> <p style="text-align: center;">外務省 (Belgian Development Cooperation)</p>	
評価ユニット	The Department Evaluation
評価基準	NA
ガイドライン	NA
参考資料	

<p style="text-align: center;">ポルトガル</p> <p style="text-align: center;">IPAD (Portuguese Institute for Development Support)</p>	
評価ユニット	IPAD Evaluation
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 効率性 ● 有効性 ● インパクト ● 持続可能性
ガイドライン	「Annual Report of Evaluation」
参考資料	「Evaluation Guide」

<p style="text-align: center;">イタリア 外務省 (Ministry of Foreign Affairs)</p>	
評価ユニット	Evaluation Unit
評価基準	NA
ガイドライン	NA
参考資料	

<p style="text-align: center;">アイルランド Irish AID</p>	
評価ユニット	The Evaluation and Audit Unit
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトの結果の目標に対する妥当性 ● 長期的なインパクトと持続可能性 ● 持続可能な発展の観点に基づく参加型のプロセスの中で、貧困層や女性などの不利な立場にある人々が受益者となっているかどうか ● アイルランド政府の支出として十分説明責任を果たすものであるか
ガイドライン	「Annual Report 2005」
参考資料	

フィンランド 外務省 (Ministry of Foreign Affairs)	
評価ユニット	Unit for Evaluation and Internal Auditing, Department of Development Policy
評価基準	<p>基本的には DAC の基準を受け入れているが、福祉国家としてのフィンランドの特色を發揮するようプロジェクトに応じて基準を変えてい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性と全体的な合理性（継続性、外務省の政策との整合性、平和と安定性、国家の優先事項、協調相手の戦略、付加価値、実行可能性などの概念を含む） ● 実施メカニズム（国際機関や NGO などの第 3 者組織を実施メカニズムに組み込むことを重視する。） ● 目的への適応性、過去の業績、フィンランドが関与する可能性
ガイドライン 参考資料	「Ex-Ante Evaluation of Finnish Development Cooperation in the Mekong Region」

オーストリア 外務省 (Ministry of Foreign Affairs)	
評価ユニット	Unit for Evaluation, Development Policy and Strategy, Department of Development Co-operation
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 法令遵守 (Compliance) ● 妥当性 (Relevance) ● 参加と責任共有 (Participation and shared Responsibility) ● インパクト (Impact) ● 持続可能性 (Sustainability) ● 有効性 (Effectiveness) ● 効率性 (Efficiency)
ガイドライン 参考資料	<p>「Guidelines for evaluation in Austria's Official Development Cooperation」</p> <p>「Manual of the Practice of Evaluation」</p>

ギリシア 外務省	
評価ユニット	NA
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● DAC の原理を評価基準として採用している。指標については言及していない。
ガイドライン 参考資料	

ルクセンブルク 外務省	
評価ユニット	NA
評価基準	NA
ガイドライン	NA
参考資料	

ニュージーランド NZAID (New Zealand Agency for International Development)	
評価ユニット	構築中
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● NZAID は非常に新しい組織であり、評価ユニットは現在構築中である。基本的には、DAC5 基準を採用する予定である。
ガイドライン	「NZAID Annual Review」
参考資料	「Walking the Talk」